

在ジュネーブ領事事務所からのお知らせ（ブリュッセルの空港等における爆発事案に関するジュネーブ州警察のプレスリリース）

平成28年3月22日

1 本日、ベルギー・ブリュッセルの空港等で発生した爆発事案に関し、同日、ジュネーブ州警察から発出されたプレスリリースの全訳文は以下のとおりです。

（以下、プレスリリースの内容）

ブリュッセルにおけるテロ：ジュネーブへの影響と措置

ベルギーの首都で発生した悲劇の報告の直後から、ジュネーブ州警察は、関連情報の収集及び分析のため、全ての関係者との間で連携体制を取った。また、複数の重要な施設に対する安全対策措置を強化することが決定された。ジュネーブ州全土としては、パリ連続テロ事件以降の警戒体制が維持される。

昨年11月のパリ連続テロ事件の翌日の対応と同様に、ジュネーブ州当局及び関連機関は、現状の評価を継続的に行っている。今のところ、警戒度に変更はなく、警戒体制の強化も行われない。

しかしながら、ジュネーブ空港での安全対策措置を強化するとともに、特に、鉄道駅、一部の国際的な施設、その他市民が集まる場所といった複数の重要な場所の周辺において、目に見える安全対策措置を強化することを決定した。安全上の理由により、実際の措置に関する情報の詳細は提供しない。

ジュネーブ州警察は、スイスに対する脅威の評価に関して状況分析を行っているスイス連邦政府の情報部局と連絡を取っている。

ジュネーブ州の救急及び治安当局は、市民に対する通常の支援体制を確保する。また、警戒度に変更があった場合には、発表を行う。

（プレスリリースの内容は以上）

2 上記プレスリリースを受け、在ジュネーブ領事事務所は、関係諸方面と連携を強化し、情報収集に努めております。現時点で具体的な脅威に関する情報には接しておりません。

皆様におかれましては、引き続き、不測の事態に巻き込まれることのないよ

う、最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から危機管理意識を持つように努めてください。特に、テロの標的となりやすい場所（政府・軍・警察関係施設、欧米関係施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等の不特定多数が集まる場所）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。（以上）

（問い合わせ窓口）

○在ジュネーブ領事事務所

電 話：+41-(0)22-716-9900

F A X：+41-(0)22-716-9901

メール：consulate@br.mofa.go.jp

住 所：82, rue de Lausanne, 1202 GENEVE, SUISSE

ホームページ：http://www.geneve.ch.emb-japan.go.jp/index_j.htm